

なかつか 亮



防災対策、29号線道路中止など 住民要望を取り上げました



質問テーマ①「防災計画」◆質問 ●答弁
◆質問：住宅耐震化の無料化、耐震助成額引き上げ、防災の観点からも区営住宅の増設で、木造アパートの方の希望者の入居を。●品川区答弁：無料化、助成増額は考えていない。木造アパートの方は賃貸契約があるので難しい。
◆質問：障害者や高齢者など災害弱者支援計画の策定にむけ、当事者参加の検討委員会発足、支援の策定を。●品川区答弁：二次避難所の運営や備蓄、マニュアルなど福祉部門と連携していく。

◆質問：二次避難所や福祉避難所の避難想定数は何人か。西大井福祉園やふれあい作業所など障害者の通所施設も福祉避難所に。●品川区答弁：被害想定では個別の避難者想定はないが、発災の規模や状況に応じ、施設を拡大し、対応をしていく。

◆質問：地域の病院や診療所、在宅介護施設などについて、建物耐震助成や器具転倒防止助成の創設を。●品川区答弁：それぞれの責任で行うべきこと。

質問テーマ②「29号線道路建設は中止を」

◆質問：区議会では道路計画廃止を全会派一致で3回議決、道路計画や防災計画で寄せられた区民意見で一番多いのは道路反対。これを、なぜ無視するのか。●品川区答弁：過去の区議会議決は重く受けとめる。しかし、重要な路線なので早期整備が必要。多くの区民の参加により策定された計画を、白紙に戻す考えはない。裏面へ

2月20日から始まった品川区議会予算議会にて、「防災対策」「29号線道路」「いじめ解決」「作業車転倒死亡事故」の4テーマで22日、本会議質問しました。質問と答弁の要旨を紹介します。なお準備が整い次第、品川区議会ホームページにてインターネット録画中継も行われます。ぜひ一度ご覧ください。

質問テーマ②「29号線道路建設は中止を」

◆質問：墨田区の検証からも、巨額な税金を投入し、反対する住民を立ち退きさせて、20m道路建設と沿道不燃化を進めても、延焼遮断帯は完成しないことは明らか。都に計画廃止を求めるべき。●品川区答弁：延焼遮断帯による被害軽減効果として、費用対効果は十分にある。29号線の計画廃止を都に求める考えはない。

質問テーマ③「子どもの自殺、なぜ防げなかったのか？いじめ解決について」

- ◆質問：被害届をご遺族が警視庁に提出したが、区教育委員会の見解は。●品川区答弁：被害届が提出されたので、警察の捜査には協力したい。
- ◆質問：区議会に提出された「報告書」及び「資料編」の黒塗り部分や作成時のアンケート調査など、ご遺族は見る事ができているのか。●品川区答弁：資料やアンケートなど全て実名で見ることができている。守秘義務が生じることも了承して頂いている。
- ◆質問：「いじめ」を苦しめた自殺について、生徒への「安全配慮義務」違反に当たるとの認識は。●品川区答弁：司法の場で判断されるべき。現段階で行政が判断すべきでない。
- ◆質問：現在、品川区立の小中学校において「いじめ」は何件か。●品川区答弁：12月10日現在で、品川区におけるいじめの認知数は小学校41件、中学校20件。
- ◆質問：学校選択性、小中一貫教育、そして小中一貫校。こうした教育改革が、子ども達にどんな影響を与えているのか。3件の子どもの死と教育改革との検証は●品川区答弁：3人の子どもの死は要因が異なる。プラン21の検証はすでに報告している。

質問テーマ④「高所作業車転倒死亡事故の原因究明と再発防止を」

- ◆質問：作業内容、作業期間に無理はなかったのか。発注者である品川区は、作業内容をどこまで把握していたのか。●品川区答弁：作業内容の報告を受けている。無理はなかった。
- ◆質問：事故調査は。過去の死亡事故と対策は。●品川区答弁：原因究明は労基署と警察が調査中。死亡事故は10年間で2件発生。安全確認の指導徹底を図っている。
(質問と答弁の全文はHP参照を)

伊藤小体育館で開催
27日、28日にわたり29号線建設説明会が開催。当日は会場一杯に近隣住民が参加し、次々と道路計画への疑問や反対の声があがりました。

31号線はどうなったの？
また「最近、31号線はどうなった？」との質問がありました。品川区は「29号線に繋がる31号線は、29号線整備の機会にあわせて整備検討を進める」と話します。29号線説明会や31号線など詳しくは次号以降の参照を。なかつか亮



29号線建設説明会が開催

次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

3月29日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**